

## 製品安全データシート (MSDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 アスキャッチCC

整理番号 MSDS No. 214

会社名 : クリアライト工業株式会社

住所 : 岐阜県関市山田 1539-3

担当部署 : 技術部

電話 : 0575-27-3051

FAX : 0575-27-3053

作成年月日 : 2007年 4月 3日

改訂年月日 : 2009年 2月 24日

### 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
合成樹脂	65~75	—	—	—
水	非公開	7732-18-5	—	—

毒劇物法 : 非該当

消防法 : 非該当

PRTR法 : 非該当

### 3. 危険有害性

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

危険有害性 : 情報なし

### 4. 応急処置

眼に入った場合 ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

皮膚に付着した場合 ・付着物を布にて素早く拭き取る。  
・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。(衣服にかかってしみこんだ場合も同様の処置を行う。)

・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 ・過って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

・嘔吐物は飲み込ませないようにする。

・医師の指示による以外、無理に吐かせないこと。

吸入した場合 ・蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

・嘔吐物は飲み込ませないようにする。

・直ちに医師の診断を受けること。

---

## 5. 火災時の処置

- 消火方法           ・このもの自体は、不燃物であるが水分蒸発後の残分は可燃性である。  
                      ・燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火剤             ・水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

---

## 6. 漏出時の措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等へ排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い・換気のよい場所で取扱う。

- ・皮膚及び目を保護するために、また吸入を防ぐためゴム手袋、防塵マスク及び防塵用保護眼鏡等をつけること。
- ・容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、引きずったりしないこと。
- ・取扱後は身体・手・口・眼・顔をよく洗う。作業着に付着した場合は着替える。
- ・容器はその都度密栓する。

保管   ・容器は直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

---

## 8. 暴露防止措置

- 管理濃度   ・知見なし
- 許容濃度   ・知見なし
- 設備対策   ・情報なし
- 保護具      ・保護メガネ・保護マスク・ゴム手袋・保護前掛け・保護靴  
(有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質のもの)

---

## 9. 物理／化学的性質

- 外観等      : 乳白色液体
- 比重        : 1.04±0.1
- pH(原液)   : 7.0~9.0
- 燃焼性      : 不燃性
- 臭気        : 微特異臭
- 水溶解性   : 任意の割合で溶解

---

## 10. 安定性・反応性

- 発火点      : 情報なし
- 引火点      : なし
- 可燃性      : 情報なし
- 爆発限界    : 情報なし
- 安定性・反応性 : このものは燃えないが、塗膜等が燃焼するとCOなどを発生することがある。  
                  通常の条件では安定である。

1 1. 有害情報 アスキャッチ CC としてのデータがないため、組成物質の情報を掲載する。

物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)	IARC	LD <sub>50</sub> (経口)
アクリル樹脂	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

有害成分規定量含有せず

組成物有害性 : 情報なし  
亜急性毒性 : 情報なし  
刺激性 : 情報なし  
変異原性 : 情報なし  
発ガン性 : 情報なし  
生殖毒性 : 情報なし  
催奇形性 : 情報なし

1 2. 環境影響情報

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- ・製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないようにすること。

1 3. 廃棄上の注意

- ・廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

1 4. 輸送上の注意

- ・運搬に関しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・栓のあるところを上にして積載する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 別表 1-4 危険物 該当しない  
毒物及び劇物取締法 該当しない  
PRTR 法 該当しない  
消防法 非危険物  
船舶安全法 該当しない  
航空法 該当しない

---

16. その他 (引用文献等)

- 1) 化学便覧基礎編改訂3版(日本化学会編)
- 2) 12093の化学商品(化学工業日報社)
- 3) MSDS用物質データベース(日本塗料工業会)
- 4) 製品安全データシート・ガイドブック(日本塗料工業会)

---

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。

## 製品安全データシート (MSDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 アスキャッチCW

整理番号 MSDS No. 210

会社名 : クリアライト工業株式会社

住所 : 岐阜県関市山田 1539-3

担当部署 : 技術部

電話 : 0575-27-3051

FAX : 0575-27-3053

作成年月日 : 2007年 4月 3日

改訂年月日 : 2009年 2月 24日

### 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
二酸化チタン	15~17	13463-67-7	非公開	191
水	非公開	7732-18-5	—	—

毒劇物法 : 非該当

消防法 : 非該当

PRTR法 : 非該当

### 3. 危険有害性

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

危険性有害性 : 情報なし

### 4. 応急処置

- 眼に入った場合
- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- 皮膚に付着した場合
- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
  - ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。(衣服にかかってしみこんだ場合も同様の処置を行う。)
  - ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合
- ・過って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
  - ・嘔吐物は飲み込ませないようにする。
  - ・医師の指示による以外、無理に吐かせないこと。
- 吸入した場合
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
  - ・嘔吐物は飲み込ませないようにする。
  - ・直ちに医師の診断を受けること。

---

## 5. 火災時の処置

- 消火方法                   ・このもの自体は、不燃物であるが水分蒸発後の残分は可燃性である。  
                                  ・燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火剤                     ・水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

---

## 6. 漏出時の措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等へ排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い・換気のよい場所で取扱う。
- ・皮膚及び目を保護するために、また吸入を防ぐためゴム手袋、防塵マスク及び防塵用保護眼鏡等をつけること。
  - ・容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、引きずったりしないこと。
  - ・取扱後は身体・手・口・眼・顔をよく洗う。作業着に付着した場合は着替える。
  - ・容器はその都度密栓する。
- 保管   ・容器は直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

---

## 8. 暴露防止措置

- 管理濃度   ・知見なし
- 許容濃度   ・知見なし
- 設備対策   ・情報なし
- 保護具      ・保護メガネ・保護マスク・ゴム手袋・保護前掛け・保護靴  
(有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質のもの)

---

## 9. 物理／化学的性質

- 外観等      :   白色液体
- 比 重      :   1.25±0.1
- pH(原液)   :   7.5～9.5
- 燃焼性      :   不燃性
- 臭気        :   微アクリル臭
- 水溶解性   :   任意の割合で溶解

---

## 10. 安定性・反応性

- 発火点      :   情報なし
- 引火点      :   なし
- 可燃性      :   情報なし
- 爆発限界    :   情報なし
- 安定性・反応性 : このものは燃えないが、塗膜等が燃焼するとCOなどを発生することがある。  
                                  通常の条件では安定である。

1 1. 有害情報 アスキャッチ CWとしてのデータがないため、組成物質の情報を掲載する。

物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)	IARC	LD <sub>50</sub> (経口)
二酸化チタン	4mg/m <sup>3</sup> ※	10mg/m <sup>3</sup> ※	3	7500mg/kg(rt)

※総粉塵として

組成物有害性 : 情報なし  
亜急性毒性 : 情報なし  
刺激性 : 情報なし  
変異原性 : 情報なし  
発ガン性 : 情報なし  
生殖毒性 : 情報なし  
催奇形性 : 情報なし

1 2. 環境影響情報

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- ・製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないようにすること。

1 3. 廃棄上の注意

- ・廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

1 4. 輸送上の注意

- ・運搬に関しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れのないの防止を確実に行う。
- ・栓のあるところを上にして積載する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物質 #192、#76、80  
毒物及び劇物取締法 該当しない  
PRTR 法 第1種指定化学物質 #43  
海洋汚染防止法 施工令別表1 有害液体物質 (D類)  
船舶安全法 該当しない  
航空法 該当しない

---

## 1 6 . その他 (引用文献等)

- 1) 化学便覧基礎編改訂 3 版(日本化学会編)
- 2) 12093 の化学商品(化学工業日報社)
- 3) MSDS 用物質データベース(日本塗料工業会)
- 4) 製品安全データシート・ガイドブック(日本塗料工業会)

---

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。